住民生活の安定と地域活性化を目指す住民参加のまちづくり

9月定例町議会　町長事務報告

9月7日から22日まで9月定例町議会が開催されました。開会日には、町長から事務報告が述べられました。

※概要掲載

財政

平成21年度の決算は、病院会計を除き、各会計とも黒字の決算となっています。

健全化判断比率・資金不足比率は、いずれも健全化基準を下回っており、本町の財政は健全な状態にあります。

景気は、依然としてデフレ不況の状態が続いていることから、税収の伸びは期待できない状況が見込まれ、社会保障関係費や公債費は引き続き高い水準で推移していくものと予想されます。

今後も、厳しい財政状況が続いていくと想定されますが、国の動向に機敏に対応しながら、健全財政を基本に、行財政改革を一層推進するとともに、住民生活の安定と地域の活性化を目指す観点から、的確な財政運営を図っていきます。

行財政改革

平成21年度の行財政改革は、職員数の削減、管理職手当、時間外勤務手当、特別職給与等の人件費の削減を引き続き進めることで、約3億9千万円相当の財政効果を得ることができました。

本年度から第2次集中改革プランがスタートしていますが、今後も、更なる改革の推進に取り組みます。

防災

近年、国内外で集中豪雨や、大規模地震が多発し、多くの被害が発生しています。

町では、予測が困難な大雨による洪水や、地震に伴う津波が発生した場合に、その被害を最小限に抑えるため、浸水情報や避難方法などの情報を掲載した「洪水・津波ハザードマップ」を作成し、各家庭に配布しました。

国体

地曳きまつりで、炬火（きょか）の採火イベントを実施しました。

ボーイスカウトの皆さんが大型マイギリで火を起こし、炬火名の発表を行いました。炬火名は、218通の応募の中から最も本町の炬火にふさわしい名前として「おおくの自然と　あふれる笑顔　みんながつなぐ　輝きの火」と命名しました。

▲日本ボーイスカウト大網白里第1団による採火

▲採火した火をトーチに灯す堀内町長

国体の開催も目前に迫ってきましたので、万全な競技運営体制とおもてなしの心でお迎えできるよう、国体の成功に向けて取り組んでいきます。

総合計画

平成23年度を初年度とする第5次総合計画は、現行計画の見直しを踏まえ、策定作業を行っています。現在、「まち計画町民懇談会」での、提案書の取りまとめ中です。各種団体への意向調査、町民提案も、併せて取りまとめを行っています。

今後は、総合計画審議会に、基本構想・基本計画の内容を諮問していきます。

公共交通

白里地区を運行範囲とするデマンド型乗り合いタクシーの実証運行は、町地域公共交通活性化協議会で運行計画が承認されました。現在、国に認可申請中です。運行開始に向けて、広報紙やチラシを活用して、利用促進に努めていきます。

企業誘致

みどりが丘地区の小学校用地隣接の町有地は、「市町村自立促進事業地区」として、県の企業誘致情報に紹介され、準工業地域として有効利用を検討してきました。この度、株式会社ベイシアから、加工食品類の物流センター用地として利用したい旨の申し入れがありました。

当該地区は、周辺地区が住宅地であり、将来、小学校が隣接することから、物流センターの建設に伴い、交通量の増加や騒音など、環境面が懸念されますが、企業誘致は、税収増、雇用の創出などの面で利点があることから、企業側にも配慮を求めながら地域の活性化に努めます。

国勢調査

国勢調査が行われます。

調査員が10月上旬に各世帯を訪問し、調査票の回収に伺います。今回の国勢調査は、個人情報の保護に配慮し、調査票を封筒に封入して提出し、調査員は、封筒を開封せず町に提出します。また、調査票を直接町に郵送で提出することも可能となりました。

本町にとっても重要な調査となります。円滑な調査実施にご理解をお願いします。

高齢者施策

全国各地で100歳以上の高齢者の所在確認が取れなくなっているという事態を受け、町内在住で100歳以上の高齢者11名の方々について、自宅・入所中の施設に訪問し、全員の所在を確認しました。

なお、戸籍上で存在する100歳以上の高齢者のうち、町内に住民登録がなく、居住実態がない方が88名おり、最高齢者は150歳となっています。

今後、法務局と協議の上、戸籍消除など必要な手続きを進めます。

児童福祉

乳幼児医療費助成制度を、子ども医療費助成制度として、小学校3年生までの保険診療内の医療費を無料としました。

今後も児童の健全育成・子育て支援に努めます。

生活環境

本町では、住民・事業者・行政が協働して環境と活力の調和した快適なまちを創り、次代に引き継ぐことを町民全員の恒久的共通認識とし、地球環境保全に取り組むための機運を熟成させるため、9月1日に「環境都市」を宣言し、自然環境の保全、地球温暖化の防止、ごみの減量化、環境の美化に取り組んでいくこととしました。

国民体育大会の開催に併せて、協働による美化活動に努めていきます。

観光

7月1日に海開きを行い、62日間にわたり、2カ所に海水浴場を開設しました。

海水浴場開設期間を延長したことや好天に恵まれたことにより、昨年よりも大勢の来遊客が訪れました。

また、地曳きまつりが開催され、地曳き網の体験やぼさま踊り、よさこいソーラン、打ち上げ花火が行われ、大勢の参加をいただきました。

下水道使用料の徴収漏れ

公共下水道事業・農業集落排水事業の使用料に、一部、本来徴収すべき使用者の方々への請求がされていないことが判明しました。公共下水道事業、農業集落排水事業併せて28件で総額約747万円の未請求がありました。

今後、このようなことのないよう、再発防止に努めていきます。

学校施設整備

平成22年度の重点事業に位置付ける小・中学校の耐震化対策事業については、今年度で完成を迎える第4期の大網中学校教室棟耐震構造改修工事を実施し、現在、順調に進ちょくしています。

また、瑞穂小学校屋内運動場の耐震構造改修工事は、制限付き一般競争入札を執行しました。

大網小学校移転改築事業については、実施設計を終了しました。今後は、工事発注に向けて準備を進めます。

白里小学校新校舎耐震構造改修設計業務および旧校舎改築設計業務については、早期の業務終了を目指し、取り組んでいきます。

ガス事業

ガス事業の利益は毎年度減少する傾向にあり、このまま推移すると赤字に転落する状況が予想されます。

町ガス事業運営委員会の「大網白里町営ガス事業の経営の在り方」に関する答申では、「当分の間公営企業として継続しながら、民営化も視野に入れ定期的に経営方針を検討すべき」とあり、「経年管対策を始めとする保安確保等に対応するため、ガス料金改定を含む経営改善が急務である」との付帯意見でした。

平成8年に改定して以来、日本一といわれる程の安価なガス料金を維持してきましたが、ガスの供給施設に十分な安全対策を講ずることは極めて重要であり、現在の経営状況を鑑み、ガス料金の見直しが必要であると考えます。

現在、料金改定に向けての事務作業に着手していますが、議会、住民にも周知を図り理解をいただきながら、改定作業を進めます。

9議案が原案どおり可決

議　案（9議案可決）

第1号　平成22年度大網白里町一般会計補正予算

第2号　平成22年度大網白里町国民健康保険特別会計補正予算

第3号　平成22年度大網白里町公共下水道事業特別会計補正予算

第4号　平成22年度大網白里町介護保険特別会計補正予算

第5号　平成22年度大網白里町ガス事業会計補正予算

第6号　平成22年度大網白里町病院事業会計補正予算

第7号　契約の締結について（町立瑞穂小学校屋内運動場耐震構造改修工事）

第8号　大網白里町監査委員の選任につき同意を求めることについて

第9号　平成22年度大網白里町一般会計補正予算

＜認　定＞

第1号　平成21年度大網白里町各会計歳入歳出決算の認定について

＜報　告＞

第1号　健全化判断比率について

第2号　資金不足比率について

第3号　専決処分の報告について